

10月11日から熱戦スタート!

~ 第28回日本ハンドボールリーグ開幕迫る ~

第28回日本ハンドボールリーグの開幕が目前に迫った。10月11日(土)に広島と熊本で男女の熱戦がスタート、来年3月7日までのレギュラーシーズンを戦い抜き、上位3チームによるプレーオフ(3月20~21日・東京)で日本リーグチャンピオンが決まる。

8チーム2回戦制の男子は、V6を狙うホンダを中心に湧永製薬、大同特殊鋼で3強を形成する図式は今回も必至だが、2年ぶりのプレーオフに意欲を燃やす大崎電気、“優勝請負人”のヴォル(元本田技研)を迎えてクジノフとの2枚看板が出来上がったホンダ熊本、さらには新人、移籍選手の加入で陣容に厚みを増したトヨタ車体とアラコ九州も虎視眈々と上位浮上を狙っており、例年になく活気あふれる順位レースが期待できそうだ。1部2年目のHC東京がこれに加わるようだと、ますます面白い展開となる。

6チーム3回戦制の女子も広島メイプルレッズが未到の6連覇にピタリと照準を定めており、北国銀行、シャトレゼ、オムロンらがどこまで女王の牙城に迫れるかが焦点。広島メイプルレッズは林五郎、呉成玉の韓国コンビや青戸、岩本らの名手たちが抜群のコンビネーションと勝負強さを発揮する。9月のアテネ・オリンピック予選で日本女子が韓国と引き分ける健闘を見せたこともあり、その流れを大きなうねりへと変える

ためにも、北国銀行らライバル勢の奮起が待たれるところ。広島メイプルレッズがつかずくようだと、これまで下位に甘んじていたソニーセミコンダクタ九州、HC名古屋を含めた大混戦が予想される。

10月11、12日の第1週では注目のホンダ熊本が大崎電気、大同特殊鋼に挑み、女子も北国銀行×シャトレゼなど好カードが組まれている。惜しくも代表切符を逃したオリンピック予選の直後にスタートするだけに、悔しさをはねのけ、明日への希望をふくらませようとする代表メンバーたちの奮戦ぶりにも興味が集まる。



V6に挑むホンダの広政

第1週の日程

[1部]

10月11日(土) 広島・湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅車10分)

広島・佐伯区スポーツセンター(広電宮島線楽々園駅徒歩10分)

熊本・熊本県立総合体育館(JR鹿児島本線上熊本駅徒歩5分)

10月12日(日) 広島・湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅車10分)

広島・呉市体育館(JR呉線呉駅徒歩10分)

熊本・松橋町体育文化センター(JR鹿児島本線松橋駅徒歩20分)

13:00~(男)ホンダ×アラコ九州

15:00~(男)湧永製薬×HC東京

12:00~(女)北国銀行×シャトレゼ

14:00~(女)オムロン×HC名古屋

16:00~(女)メイプルレッズ×ソニー

15:00~(男)大同特殊鋼×トヨタ車体

16:40~(男)大崎電気×ホンダ熊本

13:00~(男)ホンダ×HC東京

15:00~(男)湧永製薬×アラコ九州

13:00~(女)オムロン×ソニー

15:00~(女)メイプルレッズ×HC名古屋

13:00~(男)大崎電気×トヨタ車体

14:40~(男)大同特殊鋼×ホンダ熊本

[2部]

10月11日(土) 兵庫・大阪ガス今津総合グランド体育館 15:00~大阪ガス×トヨタ自動車 / 10月12日(日) 福井・北陸電力福井体育館
フレア 14:00~北陸電力×豊田合成

激戦必至の戦国レース

男子

【ホンダ】荒木ヘッドコーチのもとリーグ新記録となる6連覇に向かって突き進む王者・ホンダ。世界的な名手・ストックランが戦列を離れたものの、攻守を組み立てるクリチェンコが3年目のシーズンですっかりチームにとけ込み、茅場、池辺、羽賀、佐々木、広政らのプレーもますます円熟味が加わってきた。スペインリーグから戻った加藤の存在にも注目。

【湧永製菓】延長の末、ホンダに1点差で敗れたとはいえ、前回のプレーオフ決勝で史上に残る激闘を演じた湧永製菓。今リーグの目標は、もちろん「ストップ・ザ・ホンダ」を果たしての6年ぶりのV奪回以外ない。司令塔のシグルドソンが抜けた穴は、勢いあふれる古家、東らの台頭で埋める構え。プラマニス、中山、杉山、山口らのベテラン勢もリベンジにかける思いは熱い。

【大同特殊鋼】プレーオフ切符を奪回した前回は、左腕砲・趙範衍が負傷で途中リタイアしたものの、エース朴性立が衰えぬ得点力を示し、松林、南川、峯村らの中堅、若手が存在感をアピール、日原、荻田、高木のGKトリオの活躍も光った。韓国から新たに金性憲が加わって今夏の全日本実業団で2連覇を達成、7年ぶりの栄冠奪取へ“フェニックス大同”の勢いは申し分ない。

【大崎電気】日本人選手だけの純血メンバーでの優勝が大目標。「強い個人」を追い求め、貪欲に得点を狙っていくのが今年のテーマだ。通算得点の記録更新を狙う岩本、中川らのベテラン勢に加え、中堅の永島、東、加藤、伸び盛りの太田、豊田らの若い力をプラスさせ、まずは2年ぶりのプレーオフへ丸のパワーを注入する。

【ホンダ熊本】ホンダを4回のリーグ制覇に導いたヴォルが新加入、「久しぶりの日本リーグでのプレーに気合いが入っている」と早々の全開宣言だ。1年間のブランクはあるがオリンピック3位、世界選手権優勝のキャリアと実力は文句なし。これでクジノフとの強力コンビが出来上がり、宮城、GK吉田ら現有戦力の奮起もあって一躍注目度を集めての戦国リーグに臨む。

【トヨタ車体】エース野村が戦列に復帰、田中（秀）、長谷川の長身コンビやサイド加藤の成長、さらには新鋭・香川らの台頭もあってプラス材料には事欠かない。陣容が整備されればベテラン角谷のリードもさらに冴える。Aクラス突入には、やはりスタートダッシュがカギに。

【アラク九州】2年連続7位にとどまった前回だが、大崎電気から白星を奪い、上位陣とも僅少差で渡り合うなど内容は濃かった。スピードあふれる左腕・村上が一段と成長、呉相民（インテックス21から移籍）、朴正鎮の韓国コンビがうまく機能すれば一気の浮上も。

【HC東京】「強く 愛され そして開かれた」を合い言葉にチーム結成して3年目。環境に恵まれない状況には変わりはないが、五島、飯島、須藤、GKの宇田川兄弟ら豊富なリーグキャリアを持つベテランたちが、あふれる情熱を全身にみなぎらせてプレーする。まずは総力を結集させて悲願の1勝をその手につかみたい。

女子

【広島メイプルレッズ】いわずと知れた日本リーグクイーン。未達のV6に挑む今リーグも林五脚、呉成玉の黄金ペアを両軸に青戸、河本、岩本らの実力派たちが気迫あふれるプレーを展開する。ロングランのシーズンを乗り切るためにも若手の戦力アップがポイントを握るが、6年目の杉本が持ち前の速攻に磨きをかけてチームを引っ張る決意。高森、浅井のGKコンビにもスキがない。

【北国銀行】チームの顔ともいべき主力選手の引退で戦力ダウンがささやかれた前回だが、中堅、若手の力をうまくミックスさせて2位に再浮上、8年連続のプレーオフ進出を逃した一昨年の悔しさをはらした。得点源だった村上（麻）が抜けた穴は、新キャプテン・中村のオールラウンドプレーや伸び盛りの小野澤、渡邊らの進境で乗り切りたい。堅守を誇るGK田中の存在にも注目。

【シャトレーゼ】念願のプレーオフ切符を握った前回だが、準決勝で力を発揮できないまま敗退、3位に終わった。そんな悔しさを知る藤浦、稲吉、山崎（理）らが先陣を切り、新キャプテン原田、早船、橋本の2年目トリオもリベンジに燃える。多彩な攻撃とアグレッシブな守りを身上に、狙うは頂点奪取あるのみ！

【オムロン】前回はもうひとつ波に乗りきれずに4位とランクダウン。新キャプテン佐久川を中心に大石、坂元、金城、藤長、加入2年目の富田、劉普淑、そしてGK吉田と、前回と変わらぬ陣容で臨む今リーグは、不変のテーマである「得点25点以上・失点20点以下」に、スピーディな変化を加えて再浮上に意欲を燃やす。

【ソニーセミコンダクタ九州】前回5位とはいえ上位陣を苦しめる健闘が目立ったソニー。デンマークリーグから日本球界に復帰して2年目、通算得点記録を再び塗り替えようとする名手・田中に加え、鷗野、GK飛田らの充実ぶりが光る。郭恵静、山田、高栖らの新戦力がうまくかみ合えばリーグに旋風を巻き起こす可能性も充分。

【HC名古屋】クラブ組織のHC名古屋へと転身して2年目。取り巻く環境は厳しいものの、菅谷姉妹、羽出重、加藤、水野らに藤田、庵下、安達ら教員プレーヤーが加わり陣容に厚みを増してきた。小学生から一般まで会員160人の応援も心強い限り。ハンドボール界の未来を切り開くべく力いっぱい戦いで勝機をつかむ決意だ。

2部男子 北陸電力中心の優勝レースに

1部と同じく10月11日(土)の大阪ガス-トヨタ自動車戦を皮切りに2部男子もロングランの熱戦をスタートする。前回の6チームからインテックス21、トクヤマのリーグ撤退で4チーム制となり、3回の総当たりリーグで2部優勝を争う。

前回14勝1敗で首位を独走した北陸電力が中心となる順位レースは今リーグも確実。チームの顔ともなるオールラウンダー神田を軸に、筆吉、若手左腕コンビの桜井、杉山らで白星を積み上げそうだ。

対抗馬と目されるのはキャプテン田中のガッツあふれるプレーに甲斐田、厚沢らのロング砲がからむトヨタ自動車だろう。GK佐藤を軸に持ち前の高さを生かしたディフェンスで踏ん張れば北陸電力もうかうかではできまい。

この両チームを追う大阪ガス、豊田合成は、どこまで食い下がるか。大阪ガスは八幡、向井らの活躍で前回北陸電力から奪った殊勲の星の再現が期待されるし、豊田合成も佐藤、山田、木村の主力トリオを中心に、まずは1勝で波に乗りたいたいところだ。

本命視される北陸電力がいきなり開幕から楽々と突っ走るようだとリーグの興味が薄れる。

北陸電力をはじめ、2部各チームが1部勢との力の差を少しでも縮め、トヨタ自動車がライバルとして北陸電力の進撃に立ちあがり、大阪ガスらもそれに続いて2部のレベルアップに貢献してこそリーグ全体の活況につながることになる。出場4チームの頑張りを期待したい。



北陸電力のチームリーダー神田

第27回リーグ結果

1部男子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	1部女子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
ホンダ	21	0	0	42	593	449	144	広島メイプルレッズ	13	1	1	27	419	342	77
湧永製薬	16	1	4	33	637	491	146	北国銀行	10	0	5	20	351	313	38
大同特殊鋼	14	2	5	30	523	427	96	シャトレーゼ	10	0	5	20	367	343	24
大崎電気	11	1	9	23	510	463	47	オムロン	6	1	8	13	305	303	2
ホンダ熊本	8	3	10	19	495	491	4	ソニーセミコンダクタ九州	3	2	10	8	307	352	-45
トヨタ車体	4	2	15	10	437	513	-76	HC名古屋	0	2	13	2	270	366	-96
アラコ九州	4	2	15	10	495	629	-134								
HC東京	0	1	20	1	370	597	-227								

男子プレーオフ準決勝・湧永製薬26 - 21大同特殊鋼 決勝・ホンダ35 - 34湧永製薬
女子プレーオフ準決勝・北国銀行20 - 17シャトレーゼ 決勝・広島メイプルレッズ28 - 23北国銀行

2部男子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
北陸電力	14	0	1	28	419	280	139
インテックス21	10	2	3	22	432	340	92
トヨタ自動車	9	2	4	20	372	327	45
トクヤマ	5	0	10	10	359	424	-65
大阪ガス	3	1	11	7	327	396	-69
豊田合成	1	1	13	3	292	434	-142

第27回リーグ表彰

【1部】

最優秀監督賞
最高殊勲選手賞
殊勲選手賞
得点王
フィールド得点賞
シュート率賞
7mスロー得点賞
7mスロー阻止賞
最優秀選手賞
最優秀新人賞
ベストセブン賞

ベストディフェンダー賞
フェアプレー賞

《男子》

橋本 行弘 (ホンダ・)
 広政 宜孝 (ホンダ・初)
 D・シングルトン (湧永製薬・初)
 朴 性立 (大同特殊鋼・) 142点
 朴 性立 (大同特殊鋼・) 105点
 松林 克明 (大同特殊鋼・初) 0.672
 森本 彰宏 (大崎電気・初) 47点
 吉田 耕平 (ホンダ熊本・初) 25本
 朴 性立 (大同特殊鋼・初)
 該当者なし
 GK・坪根 敏宏 (湧永製薬・)
 CP・松林 克明 (大同特殊鋼・初)
 池辺 健二 (ホンダ・初)
 広政 宜孝 (ホンダ・)
 S・クリチェンコ (ホンダ・初)
 朴 性立 (大同特殊鋼・)
 S・ストックラン (ホンダ・)

 羽賀 太一 (ホンダ・)
 湧永製薬 7.86 (165点/21試合)

《女子》

林 五卿 (メイプルレッズ・)
 呉 成玉 (メイプルレッズ・)
 田中 麻美 (北国銀行・初)
 呉 成玉 (メイプルレッズ・) 118点
 呉 成玉 (メイプルレッズ・) 115点
 小野澤香理 (北国銀行・初) 0.670
 村上 麻美 (北国銀行・初) 44点
 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ・初) 20本
 呉 成玉 (メイプルレッズ・)
 小野澤香理 (北国銀行)
 田中 麻美 (北国銀行・)
 橋本 寛子 (シャトレゼ・初)
 藤浦 美絵 (シャトレゼ・)
 佐久川ひとみ オムロン・)
 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ・)
 村上 麻美 (北国銀行・初)
 呉 成玉 (メイプルレッズ・)
 呉 成玉 (メイプルレッズ・)
 広島メイプルレッズ 6.73 (101点/15試合)
 シャトレゼ

【2部】

最多得点賞
フィールド得点賞
シュート率賞
7mスロー得点賞
7mスロー阻止賞
ベストディフェンダー賞
最優秀新人賞
フェアプレー賞

神田 友和 (北陸電力・) 111点
 神田 友和 (北陸電力・) 111点
 田中 勝弘 (トヨタ自動車・初) 0.693
 保科 秀和 (トクヤマ・初) 21点
 福田 竜介 (大阪ガス・初) 11本
 該当者なし
 杉山 卓也 (北陸電力)
 大阪ガス 5.6 (84点/15試合)

ベストセブン賞 (北陸電力・初)
 GK・安藤 功規 (北陸電力・初)
 CP・北村 暢啓 (北陸電力・)
 神田 友和 (トヨタ自動車・初)
 田中 勝弘 (インテックス21・)
 呉 相民 (トクヤマ・)
 保科 秀和 (インテックス21・初)
 佐久間俊輔

【レフェリー表彰】

最優秀レフェリー賞 家永昌樹 (大阪府)・福島亮一 (熊本県) 最優秀新人レフェリー賞 池淵智一・檜崎 潔 (岐阜県)

日本リーグのホットな情報をどうぞ.....

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHLニュース」

年間19回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)